

新田辺駅 エレベーターを

現在増設の予定なし

①観光政策について経済の活性化、地域の活性化、歴史的遺産や史実の掘り起こし、その保存・



エレベーター設置が望まれる近鉄新田辺駅東口

南部 登志子 議員(一新会)

周知という3つのポイントに焦点を絞りながら、ハイキング愛好者、寺社めぐり愛好者、歴史や考古学の本格的な学び手にとり適した、観光ガイドマップの作成や一休寺までの道のりを楽しめるよ

う、市内の町並みを工夫したり、商業の活性化を促すために飲食店や商店の案内マップを作成する必要があるのでないか。経済環境部長 現在、観光地と市の特産品の紹介等を兼ねたイラストマ

都府と取り組みを進めているところである。府道の側道の危険箇所については、京都府へ修繕の要望をし、市道については、早急に修繕を実施していきたい。

①介護保険制度がスタートして4年半になる。制度見直しに向けての議論が厚労省内で進められ、社会保険審議会・介護保険部会で意見書がまとめられた。わが市のサービス利用状況、基盤整備、ヘルパーの労働状況などの到達を踏まえ、今後の課題は、また社会保障審議会報告書に対する市長の考えは、

福祉部長 介護認定者は高齢者の15・7%。利用者はそのうち7割施設と在宅介護の割合は二対八と介護保険が目指す望ましい形。京田辺市として課題は特にない。市長 総合的な介護予防システムを確立することが必要。介護と支援費の統合については一言で言うともまだ早い。もっと研究していく必要がある。



近鉄新田辺駅東側の商店街

②障害者支援費制度が導入されて一年。申請や利用状況、基盤整備などを踏まえ今後の課題は、

福祉部長 従来の措置制度と比べ家事援助を中心にサービスの利用が大幅に伸びている。施設整備への支援や事業者の確保、ケアマネジメントの制度化など障害者のニーズにあった支援体制の整備が最大の課題。

③近鉄新田辺駅東側地区のまちづくりについて参加の審議会の設置を。建設部長 まちづくりアンケート調査を実施。調査で寄せられた意見を反映させながら、バリアフリーを前提とした安全かつ快適な駅前と道路の整備を目指す。地域活性化を視野に入れた事業計画を検討。審議会は土地所有者、事業者とも話し合い調整。

職員の人材育成を

基本方針を作成し対応

山下 勝一 議員(自民党)

①分権時代に突入した現在、限られた財源を最大限活用し、行政サービスの向上を図るためには

職員の職務に対する意識改革並びに将来に備えた人材育成が喫緊の課題である。本市においても

期に人材育成基本方針を策定し、方針に沿った実施計画を立て、分権時代に応じた体制を整え行政運営を推進し、市民ニーズにこたえるべきと考

えるが市の考えを問う。市長公室長 分権型社会にふさわしい自治体運営を進めるためには、その組織の担い手である職員の意識改革と人材育成を効果的に推進していかなければならないと考え

ている。人材育成を計画的に進めるためには、人材育成基本方針などを作成し、その方向性を示しながら取り組みを進めていきたいと考えている。

②防災課題について。公の施設や地域の公民館などに設置された防災無線を有効適切に管理運用するため、地域防災無線運用管理規程を設ける必要があると考えるが、

総務部長 防災無線運用管理規程の制定は出来るだけ早期に内容を十分に検討し整備していきたい。

③災害発生が予測される場合、当該地域の市政協力員等に防災無線が配備された公民館等に待機出動を要請する考えは、

総務部長 災害時には



コミュニティホールで開かれた職員研修会

市民及び地域、行政が一体となった防災体制の確立が重要であり、待機と併せ、より実効性ある体制確立に取り組みたい。

④隔年行われている現地防災訓練は実践型で、総務部長 各区、自治会の方々にも参加していただけるような訓練につ

いて研究していきたい。

⑤下水道事業の将来的構想として公営企業化を目標とした取り組みを。水道部長 直ちに公営企業化移行は無理だが、下水道事業の効率の向上を率の向上を目標とするため企業化は不可欠であり課題について研究する。

外部監査制度 (2面左4段目) 市が外部の監査人(弁護士、税理士、公認会計士など)に監査業務を委託し、その監査を受ける制度のこと。

電子入札 (3面右10段目) 国や地方自治体が発注する工事などの入札手続きをインターネット上で行うシステムのこと。電子入札を導入することにより、業者の競争性の確保、受注機会の拡大や建設コストの縮減、事務の効率化などが図られるとされている。

ライフエリア構想 (4面右10段目) 高齢者の徒歩圏内に生活用品や食品が購入できる店舗や医療・福祉施設などを配置するなど、高齢者を意識したまちづくりを行うための構想のこと。

ユニバーサルサービス (7面右3段目) 生活に不可欠なサービスを地域、所得などにかかわらず、誰もが、国内どこでも適切な料金で公平に利用できるサービスのこと。

用語の解説

ワークショップ (2面右1段目他)

本来、仕事場・作業場の意味。ここでは、市民・行政・専門家・企業など様々な人々が参加し、地域の課題や問題をお互いに協力し解決するために自由にアイデアを出し合い、意思決定をする研究会、検討会のこと。

新田辺 市民参加の審議会を

アンケートの声を反映

増富 理津子 議員(共産党)

福祉部長 住宅街に接した商店街をもつ地域であるだけに、歩いて買い物ができる「ライフエリア構想」「リアフリー」のまちづくりや「空き店舗支援対策」など賑わいある商店街を取り戻す施策など市としての基本構想は、またまちづくりについては住民参加の審議会の設置を。

建設部長 まちづくりアンケート調査を実施。調査で寄せられた意見を反映させながら、バリアフリーを前提とした安全かつ快適な駅前と道路の整備を目指す。地域活性化を視野に入れた事業計画を検討。審議会は土地所有者、事業者とも話し合い調整。

建設部長 まちづくりアンケート調査を実施。調査で寄せられた意見を反映させながら、バリアフリーを前提とした安全かつ快適な駅前と道路の整備を目指す。地域活性化を視野に入れた事業計画を検討。審議会は土地所有者、事業者とも話し合い調整。

建設部長 まちづくりアンケート調査を実施。調査で寄せられた意見を反映させながら、バリアフリーを前提とした安全かつ快適な駅前と道路の整備を目指す。地域活性化を視野に入れた事業計画を検討。審議会は土地所有者、事業者とも話し合い調整。

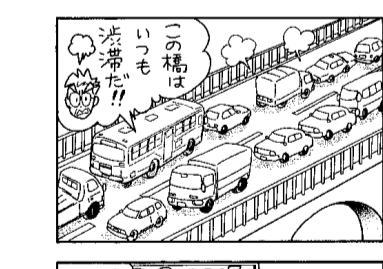
建設部長 まちづくりアンケート調査を実施。調査で寄せられた意見を反映させながら、バリアフリーを前提とした安全かつ快適な駅前と道路の整備を目指す。地域活性化を視野に入れた事業計画を検討。審議会は土地所有者、事業者とも話し合い調整。

建設部長 まちづくりアンケート調査を実施。調査で寄せられた意見を反映させながら、バリアフリーを前提とした安全かつ快適な駅前と道路の整備を目指す。地域活性化を視野に入れた事業計画を検討。審議会は土地所有者、事業者とも話し合い調整。

建設部長 まちづくりアンケート調査を実施。調査で寄せられた意見を反映させながら、バリアフリーを前提とした安全かつ快適な駅前と道路の整備を目指す。地域活性化を視野に入れた事業計画を検討。審議会は土地所有者、事業者とも話し合い調整。

建設部長 まちづくりアンケート調査を実施。調査で寄せられた意見を反映させながら、バリアフリーを前提とした安全かつ快適な駅前と道路の整備を目指す。地域活性化を視野に入れた事業計画を検討。審議会は土地所有者、事業者とも話し合い調整。

建設部長 まちづくりアンケート調査を実施。調査で寄せられた意見を反映させながら、バリアフリーを前提とした安全かつ快適な駅前と道路の整備を目指す。地域活性化を視野に入れた事業計画を検討。審議会は土地所有者、事業者とも話し合い調整。



京田辺市 明るい選挙推進協議会